

一般質問とは

議員が議案を審議・議決する以外に、市政全般にわたり、市長や行政機関などに対し、質問することができます。

市が行う事務の状況及び将来に対する方針などについての質問をし、報告や説明を求めることをいいます。



議会 Q & A

- Q 一般質問はいつ行われるの？
- A 原則3月、6月、9月、12月の年4回の定例会で行います。
- Q 質問時間はどのくらい？
- A 1人1回おおよそ1時間です。
- Q 傍聴はできるの？
- A だれでも傍聴できますので、議会事務局で傍聴の手続きをしてください。

アニメ映画を活用し観光振興を

渡辺ふき子 (公明党)
 ①小金井市を舞台にしたスタジオジブリ作品が上映される。(ア)映画配給会社と連携して観光振興を図るべき。(イ)グッズの販売や、観光客の呼べる散策ルートを考案して、広くアピールすべき。

等の取扱いが難しい。観光客を呼べる方法は検討したい。
 ②ジャイカボランティアを利用し、国際貢献する市内の人材を育成すべき。(ア)現職参加制度を活用し、市職員の資質向上に役立てるべき。(イ)青年海外協力隊、シニアボランティアについて周知すべき。
総務部長 (ア)職員派遣条例を制定してPRしたい。
市長 発展途上国での体験は貴重。職員にも勧めたい。
 ■その他、一定規模の公園の防災拠点化を要望した。

子宮頸がん予防ワクチンの公費助成を

紀 由紀子 (公明党)
 ①女性特有のがんの予防について、欧米では7割から8割の検診の受診率であるが日本では2割しかないため、がんの発生率も死亡率も高くなっている。(ア)成人式に啓発用紙を配布しないか。(イ)子宮頸がんの予防ワクチンの公費助成を行わないか。

健康課長 (ア)次回の成人式から実現する。(イ)国の動向にも注目していく。
 ②シルバーお助け隊事業(高齢者等のちよつとした困り事を解決するサービス)を実施しないか。
福祉保健部長 ボランティアと協働で考えてみたい。
 ■その他、子どもの事故を防ぐ安全対策について、子どもヘルメット購入の助成及び幼児のライターの火遊びによる火災を防ぐための啓発について質問した。

中央線北側地域の幼稚園不足への対応を問う

田頭祐子 (みどり・市民)
 市内中央線の北側地域では、数年前には4園あった私立幼稚園が、22年度からは1園だけになる。(ア)この状況をどう考え、対策を取るのか。(イ)幼児の発達障害児が増えているが、発達支援教育ネットワークは機能しているか。(ウ)幼稚園降園後の親子の居場所づく

りや、野外・小規模幼稚園なども検討しないか。
学校教育部長 (ア)大変頭が痛い問題。運営費の補助もだが、ソフト面も検討している。ネットワーク構築は、まだ出来てなく苦慮している。
学務課長 (ウ)今後子どものネットワークを広げ検討する。
 ■その他、不登校、虐待対策へのスクールソーシャルワーカー導入と、小1問題・中1ギャップ対策に、教員加配を要望し、前向きな答弁があった。

ブルーベリーの放射能汚染を小金井でも検出

漢人明子 (みどり・市民)
 チェルノブイリ原発事故から24年が経つが食品の放射能汚染は今も続いている。市民の署名活動によって設置された市民団体が運営している市の放射能測定器でも、最近、ブルーベリー食品から高濃度の放射能が検出されている。(ア)チェルノブイリ後に輸入規制

された放射能汚染食品の現状と国の検査体制。(イ)市の放射能測定事業の今後について。
市民部長 (ア)最近まで沈黙化に向かっていたが、昨年は5件の輸入規制食品があり、国は12月にポーランド・ウクライナ及びスウェーデン産ベリー類濃縮加工品の全ロット検査へと検査基準を強化した。(イ)国や都の監視体制の状況等を含め、協力団体とも協議して決めたい。
 ■予算編成過程と行政評価の公開についても質問しました。

健康と医療の総合計画を

野見山修吉 (みどり・市民)
 ①市民の健康増進と地域医療の総合計画を策定すべき。
福祉保健部長 既に26市中24市が策定しており、平成22年度の秋から着手したい。
 ②(ア)高齢者虐待を防ぐために行政はどのように臨むのか。(イ)高齢者と障害者や子育ての支援センター相互の連携を。

福祉保健部長 (ア)無意識の虐待もある中で、虐待の可能性があるところに早期にお伺いしたい。(イ)支援センター連絡会では情報や経験を共有したい。
 ③市内在住外国人にとって住みよい小金井市にするために、(ア)多文化共生推進計画を。(イ)在住外国人の生活ニーズを捉えるアンケートを。
市民部長 (ア)総務省の多文化推進プランを参考に施策を研究する。(イ)多文化共生の推進に当たり、考えてみたい。

魅力あふれる東小金井駅周辺の構築を

中山克己 (自由民主党)
 東小金井駅周辺は区画整理、都道拡幅、梶野公園整備など大きく変わろうとしている。魅力あふれる駅周辺の構築にはバリアフリー化が必要。今後の計画とモデル地区として整備は。

都市整備部長 市ではハートビル法、特定建築物等の新

バリアフリーに基づく「バリアフリーのまちづくり基本構想」を策定しており、新法に合致した工事を駅や区画整理等で遵守している。南口駅前ロタリーの整備でも同様に可能。区画整理では街路のみでなく建物等の建て替え、移設による整備の結果、モデル地区と呼べる環境は整ってくる。
 ■他に、南北分断解消後のコバス・ルートの充実、新庁舎建設と武蔵小金井駅南口再開発第2地区、犬のマナーと住民票について質問しました。

校庭の芝生化にエール！

中根三枝 (自民党小金井)
 本市で校庭の芝生化を先発した第二小学校では事業が成功し、東京都の教育長と環境局長がそろって視察に見え、激励してくれたという。(ア)今年実施する本町小のスケジューリングは。(イ)工事は市内業者に依頼してもらえるか。(ウ)今後他校への発展性はどうか。

学校教育部長 (ア)本町小と協議してプール指導が始まる6月中旬ごろから工事を始める。(イ)1千万円以上の工事なので制限付一般競争入札になることが見込まれる。今の段階では分からない。ちなみに二小の工事契約は市内業者が落札した。(ウ)ボランティア等地域の協力がなければ10分の10の都の補助金が受けられない。協力がないと半分の50%しか補助が受けられない。現在協力者に感謝しているところだ。積極的に進めたい。

小中一貫教育の考え方を取り入れないか

遠藤百合子 (自由民主党)
 小中学校における教育の在り方につき、関係者の努力する姿に頭の下がる思いである。(ア)更に教育環境を整えていくために、中1ギャップの減少を視野に入れ、小中一貫の教え方を取り入れないか。(イ)地域に根ざした学校運営を実施している所であるが、更に開

かれた学校になる事が期待されるコミュニティスクール構想を組み入れないか。
学校教育部長 (ア)意義のある取組と認識している。
指導室長 (ア)先行的な区や市の課題を分析し研究する。(イ)学校運営協議会といわれるコミュニティスクールである。小金井市は、より開かれた学校運営を目指し、学校運営連絡会を設置し、その構想に近い所で進んでいる。
 ■他に、車いすに変身する、空き缶プルトップ回収を提案。と考える。教育長の見解を伺う。

少人数学級の実現などについて問う

森戸洋子 (日本共産党)
 東京都は来年度から、小1プロブレム、中1ギャップを克服するため、小学校1・2年と中学1年について、3年間に限って、少人数学級を実施することになった。しかしこれでは解決できない。全国で東京都だけが実施していない少人数学級に踏み出すべき

教育長 小1、中1問題があることは事実であり、今回の措置については東京都に協力していく。国は再来年度定数を見直すと言っている。推移を見守る。
 ■この他に、特養ホームの生活保護基準に近い年金収入の高齢者の利用料金の軽減制度を周知すること、奨学金支給制度について、支給金額と支給人数を増やすことを要求する質問を行った。